

# 令和8年度 学校経営の概要

## 目指す子どもの姿

- 夢に向かって挑戦し、進んで学ぶ子ども（わくわく）
- 明るく、思いやりのある子ども（にこにこ）
- 元気で、ねばり強く努力する子ども（のびのび）

## 学校教育目標

**未来を見つめ 支え合い、磨き合い 共に高まる 美里っ子**  
 ～ かしこく やさしく たくましく ～

## 目指す学校の姿

- 一人一人が大切にされ、明るく活気に満ちた楽しい学校
- 地域に学び、地域と共に歩む学校
- 教職員が支え合い、働きがいのある学校

## 目指す教職員の姿

- 子ども一人一人を大切にできる教職員
- 子どもや家庭、地域から信頼される教職員
- 研修に励み、指導力向上に努める教職員

## 経営の基本方針

- 地域や子どもの実態に即した特色ある教育計画の下、生涯にわたって自ら学び、社会の変化に主体的に対応できる、心豊かでたくましい人間の育成を目指し、地域の教育力を活用した体験的・問題解決的な教育活動を推進する。

## 経営の重点

### 確かな学力の育成

- ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- 非認知能力（粘り強さ・思いやり・コミュニケーション力）の意識的な育成
- 統合を想定したICTによる表現・発信力の強化
- 地域の資源（人・物・こと）を取り入れた学びの充実

### 豊かな人間性の育成

- ふるさと男鹿に根ざしたキャリア教育による郷土愛の醸成
- 道徳教育の充実による自他を尊重する心の醸成
- 時と場合に応じた適切な表現と、集団の規律を重んじる態度の育成

### たくましい心と体の育成

- 自他を認め、自信をもって挑戦する力の育成。
- 課題解決していこうとする実践力の育成
- 運動機会の確保と健康指導
- 地域と連携した命を守る教育（防災・安全教育）の推進

### 教職員の研修の充実

- ICT活用指導力の底上げ
- 教職キャリア指標に基づく専門職性向上研修の体系化
- 発達の接続を見据えた、一貫性のある指導体制の構築

## 可視化

- ICTを効果的に活用し、個の習熟に応じた学習と少人数での深い対話的な学びを両立させ、「自ら問い、粘り強く思考する力」の育成
- 失敗を恐れず挑戦し、仲間と協調する力を意識的に育成する。
- 大人数でも物怖じせずICT等を用いて自分の考えを説明する力を付ける授業改善の推進。
- 地域と子ども・学校とが双方向でつながる活動の工夫（主に生活科及び総合的な学習の時間）

## 協働化

- 地域の教育力を活用した体験活動を通して、郷土への理解と愛着、社会貢献意識を育む。
- 道徳科の授業や縦割り班活動を通して、自他への思いやりや多様な考えを認め合う道徳教育を推進する。
- 時と場に応じた適切な言葉遣いや、集団生活で不可欠な態度を育成する。

## 具体化

- 児童の活躍の場を組織的に創出し、「認め・ほめ・励ます」指導の徹底により、自己有用感や自己効力感を高め、自分らしく活動できる安心感と自信を醸成する。
- 学校生活全般における課題発見・協働的解決の場を設定する。
- 運動に親しむ習慣形成と体力づくりを促進する。
- 地域の災害リスクを踏まえ、家庭や地域と連携して行う安全・防災に関する指導の充実を図る。

- ICT活用指導力向上の体系的研修と成果の可視化。
- 教職キャリア指標に基づき、教職員のキャリア段階に応じた研修を体系化し、専門職性の向上を可視化することで、個別最適な学びと学校組織の成長を具体化する。
- 発達の接続を見据えた園小、小中連携研修を通して、教職員の共通理解を深め、一貫性のある指導体制の構築を図る。

## 地域と共にある学校づくり

- 地域の方々と関わる教育活動の推進（コミュニティ・スクール、地域ボランティア）
- 学校評価を生かした学校運営の活性化（学校運営協議会での熟議と協働）
- 保護者・地域への積極的な情報発信（学校報、ホームページ、各種通信等）